

「プレス」「冷間鍛造」を主力に

設計から組立まで

納期相談
コスト相談
試作可
小ロット



「早い、安い、強い」をかなえる冷間鍛造

業務内容

用途によってプレス加工と冷間鍛造を巧みに利用

創業当時はプレス加工による家電用部品をつくっていた福地金属。その後は冷間鍛造技術を導入し、自動車、農機、建機、産業機械の部品加工を行ってきた。単純な丸棒や板材から冷間鍛造またはプレス加工によって複雑形状に成形。切削加工のように切りくずを出さないことから材料の節約化を図ると同時に、熱をかけずに成形すること、歩留まりの高い強靱な製品をつくり出している。

強み

冷間鍛造の短所も長所に
変換できる経験と実績

コンピューター解析技術が進んだ現代でも、冷間鍛造にはトライアンドエラーがつきものため経験や実績のない企業は介入しにくい。そんな中、メーカー系列工場ではない独立企業でありながら、50年以上にわたって冷間鍛造技術一筋に経験とノウハウを積み重ねてきたことが最大の強みだ。

また、同社には顧客のどんな依頼にも積極的に応える土壌がある。例えば、フリーハンドで描かれた図をもとに「こんなものはつくれないか」といった相談にも快く対応。工程設計から金型製作、試作から量産まで社内で一貫して請け負ってきた実績が、事業領域を超えた「無理難題」のように思われる要望にも向き合う積極性を生んでいる。

さらに、一度製作した金型はパーツを標準化する等、再利用できる工夫も凝らし、低コスト化も実現。冷間鍛造

でも安価に、小ロット短納期生産が行えるシステムをつくり上げた。

社員教育

技術向上と意識改革の先に
「発展」がある

幼い頃から現場を間近に見て育った福地社長は根っからの技術者。同社で一番の技術と実績を持ち、類いまれな求心力も発揮して会社を発展させ、他のものづくり企業との連携も強めてきた。

次なる目標は、社員とその家族のために、さらなる成長を遂げること。そのためには社員一人ひとりの技術、意識的なレベルアップが必要不可欠と考え、3S活動を始め、人づくりに取り組んでいる。



高い技術を持ち互いを尊重し合う仲間が誇り

今後の展望

互いの長短を補完し合える
信頼の協力会社

最近では、福地金属に寄せられる顧客の要望は部品加工にとどまらない。そのため同社では、多くの製造業とネットワークを構築し、切削加工、熱処理、表面処理等、自社にない技術も積極的に取り入れて、ものづくりの可能性を広げていきたい意向だ。

今後は各部門でトップ技術を誇る企業との協力関係をさらに発展させ、ネットワーク相手として選ばれるよう自社の技術も磨いていく。

COMPANY PROFILE

福地金属株式会社

大阪 24

ISO 9001

当社の歴史

創業当時はプレス加工が中心で、取引先も家電部品メーカーが主体でした。その後、冷間鍛造加工への着手を機に、取引先も自動車業界中心へと転換しました。社会の変化を見据えながらも独自の路線を貫くことで、時代の潮流に流されることなく現在まで成長と発展を遂げてきました。今後も積極的に技術向上を目指し、さらにお客様満足を目指していきます。

技術と経験、製造業界でのネットワークを活かし、お客様の要望に応じていきます。

代表取締役 福地 守さん



主な事業内容

金属部品の冷間鍛造・プレス加工 等

主な取引先（納入先）

自動車部品メーカー、金属部品加工業者 等

住所／〒547-0001
大阪市平野区加美北
3-6-21
TEL／06-6791-7176
FAX／06-6794-4906
創業／昭和36年4月
設立／昭和42年7月
資本金／1,000万円
従業員／11名

<http://www.fukuchi-kinzoku.jp>